

令和元（2019）年度 学校評価報告書 目標設定

県立鶴見高等学校

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習活動	<p>①学校として育成する資質・能力を明確化し、生徒のニーズを踏まえ、平成30年度より新たな教育課程で教育活動を行うとともに、生徒が自らの課題を発見し解決する力を育む授業実践を進め、課題発見・設定・解決する能力を育成する。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を通じて、集団としての成長を促す取組の構築・充実を図るとともに、生徒のキャリア諸能力の形成および豊かな人間力の形成を図る。</p>	<p>①生徒の学習意欲を高め、学力向上を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。</p> <p>②体育祭、文化祭、合唱祭及び生徒会活動のさらなる活性化をとおして、主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。</p>	<p>①各教科の具体的な目標、手立てを再確認し、テストの共通化、教材の共有化を進め、組織的な授業改善に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県及び国立教育政策研究所の指定研究事業を一層推進させるとともに、研究成果を本校の授業実践に活用する。 ・学習支援サービスを活用し、生徒が主体的に学習に取り組む環境を整備する。 <p>②学校行事や生徒会活動に計画的、効率的に取り組ませ、生徒の主体的な取組を通じて、豊かな人間性やリーダーシップを育成する。</p>	<p>①生徒による授業評価の結果から、生徒の学習意欲、授業の充実感において上昇が見られたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県及び国立教育政策研究所の指定研究事業の成果を発信することができたか。 ・学習支援サービスを活用することができたか。 <p>②学校行事や生徒会活動において、生徒は主体的に取り組むことができたか。また、満足度は上昇したか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>①生徒指導・生徒支援を一体的に捉え、丁寧な生徒理解のもとに、より質の高い基本的な生活習慣の確立や学習環境の整備、マナーや規範意識の向上のために、教職員の共通理解を持った指導・支援体制を確立する。</p> <p>②生徒の自主的な活動の場としての部活動に対する支援の充実を図るとともに、個別生徒の課題解決に向けた支援体制の一層の充実を図る。</p>	<p>①生活指導基本方針に基づき、基本的な生活習慣の確立、規範意識の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒への個に応じた支援について情報共有を密にするとともに、個々の課題解決に向け組織的な対応を図る。 <p>②部活動のさらなる活性化をとおして、主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。</p>	<p>①生徒の基本的な生活習慣の確立、規範意識の向上等に向け、職員の共通理解のもと指導・支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談コーディネーターを中心に、校内委員会の活性化を図り、組織的にきめ細かい対応を行う。 <p>②部活動指導において、施設面での工夫をしながら、目標達成の過程を通じて、責任感や連帯感を育成できるよう支援する。</p>	<p>①生徒の遅刻数は昨年度に比較して減少したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会を定期的に開催することができたか。また、学年会やケース会議等を通じて情報の共有を行い、課題を抱える生徒を支援できたか。 <p>②部活動を通じて、生徒が主体的に取り組む、充実感を得ることができたか。</p>

3	進路指導 ・支援	<p>①生徒のキャリア諸能力の形成および豊かな人間力の形成を図り、社会に貢献する人材を育成する。</p> <p>②個々の生徒が将来の生き方・働き方、将来の社会参画の在り方について考え、その具現化のための「個々の生徒の目標とする進路実現」を図る。</p>	<p>生徒一人ひとりの進路希望の実現を目指し、進路指導の一層の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した進路指導の充実を図るとともに、模擬試験や合否結果等のデータを分析し、活用することで、生徒個々への指導の充実を図る。 ・生徒自らの進路希望の実現に向けて、高大接続改革へ適切に対応し、ポートフォリオを活用するなど生徒の支援を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の第1志望の実現に向け、模擬試験等のデータを有効に活用しながら、面談等に生かすことができたか。 ・ポートフォリオを活用して、生徒自らの成長を支援することができたか。
4	地域等との連携	<p>地域・同窓会・保護者との協働・連携を通じて多様な教育活動を展開するとともに、適切な情報発信を図り中学生・地域のニーズに応える開かれた信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①地域をはじめ、保護者、同窓会との協働、連携の充実に取り組み、本校教育力の向上を図る。</p> <p>②本校の教育活動の情報を積極的に発信する。</p>	<p>①コミュニティ・スクールを通じて地域等との連携、協働を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や大学研究機関、同窓会等と連携した教育活動の充実を図る。 <p>②本校の教育活動について、保護者、地域、中学生など、より広く情報発信に努める。</p>	<p>①地域や大学研究機関等との連携、協働は昨年度に比べ増加したか。</p> <p>②本校の教育活動について学校ホームページなどを通じて情報発信のさらなる充実が図られたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>高校教育に求められる教育活動を生徒の状況に応じて推進し、教職員一人ひとりがチャレンジとコンプライアンスを旨とし、業務改善および事故・不祥事ゼロを実現するために、明るく風通しのよい職場環境を醸成し、地域・保護者・生徒に信頼される学校を目指す。</p>	<p>①教育環境の変化に迅速に対応し、教職員が前向きに取り組む学校文化を育み、魅力ある学校づくりに取り組む。</p> <p>②業務の改善を進め、一層円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安心して安全な教育環境の整備を推進する。</p>	<p>①県立高校改革、高大接続改革等、これからの教育課題に適切に対応できるよう職員が一体となって取り組む。</p> <p>②ICTの効果的な活用等により業務の効率化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の安全の確保および教育環境の整備に努める。 	<p>①本校の魅力づくりを推進できたか。</p> <p>②ICTの活用、業務の見える化などを通じて、業務の効率化を推進できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境や施設整備を着実に進めることができたか。